

<http://www.shika-implant.org/>

インプラント
ニュース



since 1972
Japanese Society
of Oral Implantology

第26号

平成29年8月15日発行

Implant News No.26

公益社団法人 日本口腔インプラント学会会報

発行人 渡邊 文彦 編集 公益社団法人 日本口腔インプラント学会広報委員会

事務局 〒108-0014 東京都港区芝4-3-5 ファースト岡田ビル8F

TEL. 03-5765-5510 FAX. 03-5765-5516

HP: <http://www.shika-implant.org/> Eメールアドレス: jsoi@peace.ocn.ne.jp

【本号のトピックス】

第47回学術大会迫る、平成28年度各種専門資格合格者、
カリキュラム研修WS報告、倫理審査委員会より など

第47回日本口腔インプラント学会学術大会開催の挨拶

大会長 西郷慶悦
嵌植義歯研究所

第47回公益社団法人日本口腔インプラント学会学術大会を担当させていただきます西郷と申します。すでにご案内申し上げておりますように、9月22日から24日までの3日間、仙台市で開催する運びとなりました。大会の企画・運営にあたっては、東北大学大学院歯学研究科ならびに嵌植義歯研究所の協力のもと、実行委員会を組織し鋭意準備を進めているところであります。

今回、「インプラント治療が拓く未来」というメインテーマをいただき、我々大会事務局では「ミート・ザ・フロントランナー」というサブテーマを設定しました。これは、それぞれの分野で活躍されるフロントランナーをお呼びし、会員の先生方にとって少しでも魅力ある大会にしたいという想いからであります。

大会企画として特別講演1題、海外からの招待講演3題に加えシンポジウム1つを企画することができました。これらにより、国内外から最新の情報をお届けできるものと期待しております。また、本学会術委員会からは、9つの魅力あるシンポジウムを企画していただきました。どのセッションも、日常

の臨床あるいは今後の研究に役立つものと確信しております。さらに、指定研修施設によるモーニング、イブニングセッション、各種企業の協賛によるランチオンセミナー、企業展示等々、多岐にわたる企画を組み込むことができました。関係各位には多大なご協力をいただきましたこと、この場をお借りして御礼申し上げます。学会の運営に際しては、多々不手際等があるかと思いますが、何とぞご容赦くださいまして、ぜひとも本大会を活用していただきますよう、併せてお願い申し上げます。

先般、九州地方においては大地震が発生しました。さらには台風による被害が相次ぎ、各所で復旧に迫られています。また、東北地方は東日本大震災の発生から6年以上が経過しましたが、復旧・復興には程遠い状況にあります。今大会は、復興支援大会としての位置づけもあり、被災地仙台での開催を決断いたしました。復興の架け橋として、さらには本会の活性化のために、一人でも多くの先生が仙台の地に足を運んでいただき、学術大会を盛り上げていただきますよう、切にお願い申し上げます。

第 47 回公益社団法人日本口腔インプラント学会学術大会

テーマ：インプラント治療が拓く未来 ～ミート・ザ・フロントランナー～
2017年9月22日（金）・23日（土）・24日（日）

<http://www.tohoku-kyoritz.jp/jsoi2017/>

会 場：仙台サンプラザ 22日（金）
〒983-0852 仙台市宮城野区榴岡5丁目11番1号
TEL：022-257-3333（代表）
仙台国際センター 23日（土）・24日（日）
〒980-0856 仙台市青葉区青葉山無番地
TEL：022-265-2211（代表）

大 会 長：西郷 慶悦（（公社）日本口腔インプラント学会東北・北海道支部支部長， 嵌植義歯研究所施設長）

副 大 会 長：佐々木啓一（東北大学大学院歯学研究科口腔システム補綴学分野）

高橋 哲（東北大学大学院歯学研究科顎顔面・口腔外科学分野）

実行委員長：小山 重人（東北大学病院歯科インプラントセンター， 顎口腔再建治療部）

準備委員長：山内 健介（東北大学大学院歯学研究科顎顔面・口腔外科学分野）

事務局 長：小川 徹（東北大学大学院歯学研究科口腔システム補綴学分野）

■主要プログラム

22日 （金）	午後	■医学系研究に関する倫理セミナー 倫理指針と倫理審査申請方法の改定について 小山重人	■専門医教育講座 インプラント治療におけるデジタルソリューションの検証 末瀬一彦
23日 （土）	午前	■シンポジウム 1 20年前のエビデンスは今？ —過去，エビデンスと言われた治療は現在，どのように考えられているか— 田中秀樹，武田孝之，春日井昇平	■シンポジウム 2 インプラント周辺機器を使いこなそう 中田光太郎，十河基文，白鳥清人
		■シンポジウム 3 高齢者に対するインプラント治療： その長期メンテナンス 阪本貴司，柏井伸子，佐藤裕二	■シンポジウム 4 エビデンスに基づいた審美インプラント治療 築山鉄平，脇 智典，中野 環
	ランチョンセミナー		
	午後	■特別講演 スマート・エイジング —認知症ゼロ社会を目指して— 川島隆太	■シンポジウム 5 最先端インプラント治療： 新しいデジタルワークフロー 清水誠治，近藤尚知，松浦賢治
		■シンポジウム 6 インプラント治療における抜歯基準の再考 水上哲也，林 美加子，福西一浩	■シンポジウム 7 可撤性補綴装置の設計指針 永田省藏，小林琢也，奥野幾久
	■国際誌委員会セミナー 国際誌（IJID）の発行からの経緯と優秀論文賞 岡田常司		
イブニングセミナー			
懇親会			
モーニングセミナー			
24日 （日）	午前	■海外招待講演 1 Peri-implant soft tissues management Dr. Mario Beretta	■海外招待講演 2 Peri-implantitis: hype, myth & evidence Prof. Dr. Hugo De Bruyn

24日 (日)	午前	■シンポジウム 8 インプラント治療と睡眠時無呼吸症の OA (Oral Appliance) 治療の現状と展望 鱒見進一, 松尾 朗, 中村周平	■専門歯科衛生士・技工士合同セミナー チーム医療としてのインプラントを考える 佐藤博信, 山口芳正, 小林明子
		■専門医歯科衛生士教育講座 インプラント治療に関わる歯科衛生士が知って おくべき基礎と臨床 ～インプラント治療指針 2016年から～ 阪本貴司	■専門歯科技工士教育講座 歯科インプラント補綴技工 40年の変遷と未来物語 坂本 裕
		■ Back to the Basics 井上 孝、柴原孝彦、堀内克啓、宮崎 隆、 吉野敏明	
	ランチョンセミナー		
	午後	■海外招待講演 3 Transitioning teeth to implants: Biologic, surgical and prosthetic determinants of success Prof. Dr. Homa H. Zadeh	■国際セッション (国際渉外委員会セミナー) タイインプラント学会との交流を始めるに際して： タイでのインプラント治療の現状 Dr. Somchai Sethasirisombat Dr. Atiphan Pimkhaokhan
		■シンポジウム 9 歯周病患者におけるインプラント治療の問題点 とその解決 谷口宏太, 林 丈一朗, 長谷川嘉昭	■大会企画 我が国発一骨再生のフロンティア 長谷川博, 川井 忠, 宮本洋二, 村上伸也
■市民公開講座 インプラントから健康長寿 西郷慶悦, 笹野高嗣		■認定・試験・編集委員会セミナー 専修医・専門医・指導医資格取得のための ガイダンス 藤井俊治, 永原國央, 小倉隆一	

大会参加登録

事前参加登録：8月4日(金)正午で締め切りました。

当日参加登録費

資格		金額
正会員	歯科医師, 一般	21,000 円
	歯科技工士, 歯科衛生士	9,000 円
非会員	歯科医師, 一般	26,000 円
準会員・非会員	歯科技工士・歯科衛生士	10,000 円
	コデンタルスタッフ	9,000 円
	学生 (大学院含まず)	3,000 円
懇親会		12,000 円

※外国人会員は、正会員(歯科技工士・歯科衛生士)と同額にする。

大会事務局：東北大学大学院歯学研究科

運営事務局(お問い合わせ先)：

株式会社東北共立内

〒982-0001 宮城県仙台市太白区八本松2-10-11

TEL: 022-246-2591 FAX: 022-249-5618 E-mail: jsoi2017@tohoku-kyoritz.co.jp

(平日10時～18時 土日祝休)

平成 28 年度 研修施設変更

研修施設長名変更

- ・(旧) 大阪大学歯学部附属病院 前田芳信
- ⇒ (新) 大阪大学歯学部附属病院 中野 環

研修施設名変更

- ・(旧) 徳島大学病院歯学部附属病院インプラント診療部門
- ⇒ (新) 徳島大学病院口腔インプラント診療部門
- ・(旧) 神奈川歯科大学附属病院
- ⇒ (新) 神奈川歯科大学附属病院口腔インプラントセンター

平成 28 年度 各種専門資格合格者

指導医合格者

- | | | |
|------|----------|----------|
| 高橋徹次 | (東北・北海道) | |
| 佐藤大輔 | (関東・甲信越) | |
| 田村暢章 | (関東・甲信越) | |
| 原 俊浩 | (関東・甲信越) | |
| 村上 洋 | (関東・甲信越) | |
| 伊藤幸司 | (中部) | |
| 津野宏彰 | (近畿・北陸) | |
| 関根浄治 | (中国・四国) | (以上 8 名) |

専門医合格者

- ▼東北・北海道支部
- | | | | |
|-------|-------|-------|-------|
| 今枝明子, | 川端一裕, | 佐藤雄大, | 志村俊一, |
| 白鳥香理, | 平 幸雄, | 長屋 淳, | 新田茂夫 |
- ▼関東・甲信越支部
- | | | | |
|--------|--------|--------|--------|
| 赤塚麻帆, | 浅野聖子, | 熱田 亙, | 荒井昌海, |
| 井下田繁子, | 薄倉優美, | 大澤淡紅子, | 太田淳也, |
| 大塚保光, | 小笠原龍一, | 岡田 淳, | 貝淵信之, |
| 各務秀明, | 川名部大, | 瓦井 徹, | 北川剛至, |
| 木村新之介, | 木村勝年, | 工藤 求, | 窪田裕一, |
| 黒岩昭弘, | 河野恭範, | 榊原 毅, | 佐々木啓行, |

- | | | | |
|--------|--------|-------|-------|
| 笹生宗賢, | 佐藤成実, | 佐藤浩史, | 篠崎泰久, |
| 新藤靖二郎, | 関矢泰樹, | 竹野智崇, | 長島 悟, |
| 長濱英嗣, | 長山誠樹, | 名取健寿, | 淵上 慧, |
| 保坂栄勇, | 真壁 康, | 三串雄俊, | 百瀬康仁, |
| 森岡俊行, | 山田健太郎, | 山本裕明 | |
- ▼中部支部
- | | | | |
|-------|--------|-------|-------|
| 江幡晃治, | 小野寺良修, | 徳丸啓二, | 長谷川慶, |
| 山本浩司 | | | |
- ▼近畿・北陸支部
- | | | | |
|-------|-------|-------|-------|
| 石田純一, | 大谷 昌, | 萱島浩輝, | 久保達也, |
| 高岡一樹, | 西馬伸幸, | 畑山敬秀, | 深瀬亜希, |
| 古川尊寛, | 米田晋也 | | |
- ▼中国・四国支部
- | | | | |
|-------|-------|-------|-------|
| 石井彰夫, | 岡本耕造, | 佐藤 毅, | 白数信明, |
| 関根浄治, | 松原秀憲, | 村瀬隆一, | 渡邊知恵 |
- ▼九州支部
- | | | | |
|-------|-------|--------|-----------|
| 駒井英基, | 近藤祐介, | 谷山隆一郎, | 前田 祥, |
| 松田光正, | 松永 久 | | (以上 80 名) |

専修医合格者

- ▼東北・北海道支部
- | | | | |
|-------|-------|-------|-------|
| 石川禎一, | 加藤久尚, | 齋藤慶介, | 南館公雄, |
|-------|-------|-------|-------|

村上龍也, 本館朋之, 森下 長, 吉沢さゆり

▼関東・甲信越支部

青柳恵子, 秋本陽介, 東 竜二, 石井 豪,
磯部明夫, 伊藤 実, 大野晃教, 大庭容子,
岡 和彦, 岡田征彦, 小川 信, 荻原 真,
奥田祐司, 小田由香里, 久保卓也, 栗山壮一,
河野恭範, 坂本 圭, 佐々木洋人, 塩崎美由紀,
ㄨ谷秀人, 下地茂弘, 田賀 仁, 高見澤一伸,
高良 巖, 千葉貴大, 角田宗弘, 坪井佐知,
土肥健二, 豊田 亮, 成田達哉, 成田宗隆,
西川 毅, 林田耕治, 半澤昌也, 樋田秀一,
平野友基, 深澤壽法, 矢ヶ崎隆信, 山田晴樹,
李 知午, 渡辺菜津子

▼中部支部

栴沢裕貴, 川下 考, 児島俊彦, 小林寿隆,
佐藤 亮, 末延慎司, 高田龍彦, 松田裕也,
宮田晃男, 安川恒平, 米崎広崇

▼近畿・北陸支部

赤尾聡一, 石原祐子, 岩井千弥, 上田吉松,
海田浩治, 加藤真悟, 関谷健祐, 田口尚吾,
武下 肇, 多鹿良裕, 坪田康徳, 中野裕司,
永久景那, 橋本齊以子, 福田知樹, 森田和伸,
森永昌義, 山岡 洋, 山口智明, 山本泰右,
米山耕司

▼中国・四国支部

生熊克成, 大江 剛, 鎌田久美子, 黒崎陽子,
清水延哲, 詫間隆弘, 西村嘉展, 槇野隆秀

▼九州支部

篠崎陽介, 柴田翔太郎, 城 敦哉, 菅鉢孝治,
園木 誠, 竹中誠一郎, 田中謙光, 田中秀明,
出口浩也, 中井大史, 八田知之, 福田竜一,
向江富士夫 (以上 103 名)

インプラント専門歯科衛生士合格者

▼東北・北海道支部

川端菜奈, 菊地憂香, 栗城いづみ, 柴田朋美
鈴木友子, 津田香織, 中嶋幾美

▼関東・甲信越支部

飯沼美波, 植松裕美, 甲斐智美, 柿下菜弥
角山明日香, 加瀬保奈美, 加藤夕貴, 川上 梓
川崎美奈子, 古賀絢子, 小林志保, 小林美由紀
佐久間郁美, 佐藤久美子, 篠 麻美, 白石静香
白鳥綾子, 銭場志帆, 千葉里美, 徳永典子
中島美紀, 中島瑞恵, 永田恵実子, 中村友美
中村玲子, 中山香織, 早坂裕美, 箕輪沙織
三村綾子, 宮坂樹理, 望月由香里, 森 真美
山川理代, 山本麗子

▼中部支部

河合敦子, 小島綾子, 津元多貴恵, 丹羽円何

▼近畿・北陸支部

池上裕子, 石垣恵以子, 今村紗也加, 上田康子
宇都宮千沙, 金森あすか, 窪田安希子, 杉山麻樹子
谷澤恵美, 西川百合子, 福原有紀, 星出聡恵
松谷伸子, 山本恵子, 横瀬麻衣子

▼中国・四国支部

河野麻里

▼九州支部

有水智香, 岩城絵吏, 川井田 蘭, 欽塚美由貴
興柁 舞, 財津由夏, 関 真理子, 田島香菜
平岡麻衣 (以上 70 名)

インプラント専門歯科技工士合格者

▼関東・甲信越支部

桐生達也, 畑山賢伸

▼近畿・北陸支部

中越辰夫

▼中国・四国支部

丸谷 靖

▼九州支部

川崎信一 (以上 5 名)

カリキュラム研修ワークショップ 日本口腔インプラント学会専門医研修の カリキュラムプランニングに関する報告

教育・研修委員会委員長
矢島安朝

1. ワークショップ開催の趣旨

日本口腔インプラント学会の使命は定款にも示されている通り、「口腔インプラント学に関する様々な事業（研究発表、知識の交換・普及、情報提供等）を行うことにより、口腔インプラント学の進歩普及を図り、わが国における口腔インプラントの臨床および学術の発展に寄与することである」とされています。つまり、口腔インプラントに関する正しい知識を社会に還元することと同時に、社会の要請にこたえることのできる知識、技術を兼ね備えた人間性豊かな歯科医師を育成することも本学会の大きな目的の一つだと考えられます。

本学会では昨年度から認定委員会による各研修施設の適時調査が行われています。その結果、問題点として「各研修施設での専門医育成教育の内容に大きな差がある」と報告されました。これを受けて、理事長直轄の認定研修の在り方WGで原因の追究と対策が検討されました。教育内容相違の原因としては、専門医育成研修の目標が明示されていないため、各研修施設での研修内容（方略）に方向性の違いや目指すレベルの差が生まれているのではないかと考えられました。その対策としては、学会として統一した専門医育成研修の目標（一般目標、行動目標）を定め、各研修施設ではそれぞれの実情（地域性、人的資源、物的資源、環境等）に合わせた独自の妥当性の高い方略を作成することが必要であるとの結論に達しました。つまり、学会として専門医育成研修のカリキュラムを確立することが、適時調査によって明確にされた問題点を解決する最良の方法であることが示されたわけです。

そこで、専門医育成研修の場である各研修施設の中に、教育の基本であるカリキュラムプランニングに熟知した研修教育の核となる人材の養成を目的に、このワークショップが開催される運びとなりました。今後各研修施設では、ワークショップ受講者が中心となって、本学会教育・研修委員会が作成した目標に合致した妥当性の高い方略、評価が試案されるこ



第1回カリキュラム研修ワークショップ集合写真



日本歯科医学教育学会理事長 関本恒夫先生のご挨拶

とになるはずですが。このワークショップの成功は、日本口腔インプラント学会の専門医育成研修システムの体系化と統一化を実現し、社会に対して本学会の専門医の質を保証し、さらに社会的信頼の向上に繋がることになるであろうと考えています。最終的には、専門医育成研修の充実によって得られた社会からの信頼が「広告可能な専門医」への道を開く大きな力となるものと期待しています。

2. 開催日、場所、運営

第1回WSは平成29年1月28、29日に参加人数19名、第2回WSは2月25、26日に参加人数20名で、ともに千葉市幕張国際研修センターで行わ



グループ作業の様子



グループ作業後の全体発表

れました。タスクフォースは日本歯科医学教育学会より理事長の関本恒夫教授をはじめ7名のベテランの先生方が務めてくださり、本学会からは教育・研修委員の廣安一彦先生、伊藤太一先生、矢島の3名が加わりました。

今回のカリキュラムプランのコースは「専門医取得のための口腔インプラント学」であり、この一般目標は「国民から信頼される口腔インプラント専門医となるために、インプラント治療に関するコンセンサスのとられた基本的知識、技能、態度を修得するとともに専門医としての人格を身に付ける」と発表され、それぞれのグループは、コースの下に付くユニット（医療安全、治療計画、インプラント埋入手術等）のカリキュラムを計画するよう課題が与えられました。日程として第1日目は9時よりアイスブレイキング、KJ法、学習目標、学習方略と進み、夕食の後もグループごとの発表やプロダクト修正が行われ、21時過ぎまでグループ作業は続いていま

た。第2日目は8時30分より大学で行われている口腔インプラント学教育についての講義の後、学習評価、プロダクト修正、二次元展開法と続き、16時には無事一人の脱走者もなく閉校式となりました。時間に追われ、討論に追われ、提出物に追われる2日間は参加者にとって苦しくても大変貴重な時間であったようです。

3. ワークショップ後の参加者の感想

最も多かった意見は、「自らの研修施設において今までカリキュラムと呼んでいたものは、ただのプログラムであって、今回のワークショップで本当のカリキュラムというものを知ることができた」というものでした。「一般目標、行動目標」を実現するために「方略」があり、これら「目標」と「方略」が合理的に連携し、さらに学習者の質に適しているのかを「評価」によって検証したうえで、最終的に「総括的評価」で合否判定がなされるというプロセスを具体的なインプラント学に関係するユニットで体験できたことは、参加者にとって理解を深める有効な方法であったと考えられます。

日本歯科医学教育学会のタスクフォースの感想では、「日本口腔インプラント学会が他学会に先駆けて、このようなカリキュラムプランニングのワークショップを行うのは画期的なことであり、学会が教育というものを真剣に考え始めた証である。歴史的に大変意義深いワークショップであった。」と述べられています。

4. 今後の専門医育成カリキュラムについて

当初の予定では、このワークショップが終了したのち学会理事会の承認を得たユニットごとの一般目標、行動目標が提示され、それぞれの研修施設ごとに、自分の施設に適した方略と評価をワークショップ参加者が核となって考え、さらにこれらを教育・研修委員会に提出し添削等が繰り返される手順になっていました。しかし、今回のワークショップにおいて、専門医制度に対するあるいは研修施設の体制に関する様々な問題点が浮かび上がったため、この予定を変更することといたしました。現在完成している一般目標と行動目標を再度ブラッシュアップするために、今回のワークショップ参加者の中から、教育学会タスクフォースが選抜した数名を教育・研修委員会の作業部会員として迎え入れ、さらなる検討を重ね目標の再作成を行う予定となっています。

公益社団法人 日本口腔インプラント学会 第28回口腔インプラント専門医臨床技術向上講習会報告

教育・研修委員会委員長 矢島安朝
教育・研修委員会委員 関根秀志

平成29年3月26日(日)、日本大学歯学部付属歯科病院 研修医講堂におきまして、第28回専門医臨床技術向上講習会が開催されました。当日は、年度末の週末にもかかわらず開催地の関東・甲信越地域をはじめ広く東北・北海道支部から九州支部にいたる全国から102名の先生方のご参加をいただき、大変な盛況ぶりでした。

本年度の講習会のテーマ「インプラント治療のベネフィットとリスク」を基に、今回のサブテーマである「術後管理しやすいインプラント治療のために」について各演者から熱のこもった講演が行われました。

午前中は、教育・研修委員会、専門医講習会作業部会長の加藤仁夫先生のご挨拶ののち、今回の講習会担当として関根秀志から「術後管理しやすいインプラント治療のために」というタイトルで趣旨説明をさせていただきました。続いて、奥羽大学の川鍋仁先生から「術後管理しやすい口腔内環境とするための矯正治療適用の可能性」と題して、インプラント治療の前処置としての歯列矯正治療による口腔内環境の改善の効果について、症例を供覧していただきながらご解説いただきました。加えて、包括的歯科治療の重要性について、保険収載されております部分無歯症に対するインプラント治療の適用ならびに鎖骨頭蓋異骨症に対する咬合再構成についてお話しいただきました。その後、大阪口腔インプラント研究会の阪本貴司先生から「術後管理しやすいインプラント治療のためにー長期経過後の上部構造と骨造成部の予後を考えるー」と題し、補綴主導型インプラント治療の原則に則り、インプラント体埋入に伴う骨増生を実施した症例の長期経過についてご教示いただき、骨補填材の選択や骨増生適用の範囲などについてご解説をいただきました。

午後はまず、東京歯科大学の伊藤太一先生から「良好な術後経過を得るためのインプラント周囲組織の管理ーインプラント周囲炎への対応ー」というタイトルで、術後管理しやすいインプラント周囲組織の



加藤仁夫先生のご挨拶



ご参加いただきました先生方

獲得の重要性と、その喪失に関わるインプラント周囲炎への対応についてご解説いただきました。続いて、田中譲治先生から「インプラント患者の高齢化への対処」というタイトルで、超高齢社会における国民の健康長寿に対する歯科の対応の重要性についてお話しいただきました。加えて、認知症などで通院が困難になってしまう患者さん方への固定性補綴装置から可撤性への移行のタイミングの見極めの臨床の評価基準について詳しくお話しいただきました。最後に、昭和大学歯学部の宮崎 隆先生から「インプラント治療に用いられる歯科材料の特性ーデジタル技術の適用におけるベネフィットとリスクー」と



講演される宮崎 隆先生



質疑応答に応じられる田中譲治先生



全体ディスカッション

題して、歯科材料学的な見地から歯科インプラント治療を解説いただき、現時点におけるインプラント

関連材料の特徴とデジタル化が進む補綴治療について詳細をご解説いただきました。トラブルを引き起こしやすいと考えられる難症例への対応を科学的根拠に基づいて検証された内容であり、専門医講習会にふさわしい、大変アカデミックな講習会となりました。

その後、総合討論では講演内容の範囲を超えて様々な質問をご参加いただいた先生方から寄せられ、時間が瞬く間に過ぎました。最後に、修了式が執り行われました。まる一日を費やした第28回口腔インプラント専門医臨床技術向上講習会は盛会のうちに、16時20分には無事にすべての日程を終了いたしました。

倫理審査委員会からのお知らせ

倫理審査委員会委員長
馬場俊輔

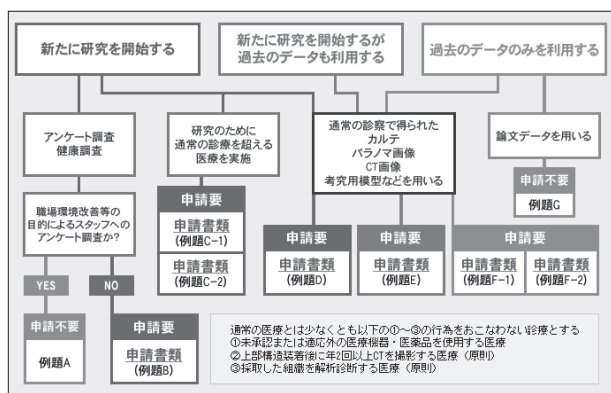
倫理審査につきまして学会ホームページが更新されました。現在、大学に所属する会員の先生と、倫理審査委員会を立ち上げられている臨床系施設に所属する会員以外の先生が、臨床研究や症例報告等で、本学会本部支部学術大会で発表あるいは本学会誌に投稿しようとする際には、多くの場合、倫理審査を受けることが必要になっております。倫理審査委員会への倫理申請において、人を対象にした医学系研究に関する倫理指針の改正に伴って、申請書類も大幅に変更されました。このため、学会員の先生方が、より理解しやすく、そして簡便に倫理審査を受けていただけるように、本年4月に学会のホームページ

の倫理審査の頁を更新いたしました。この紙面を借りて少しその内容をご紹介します。

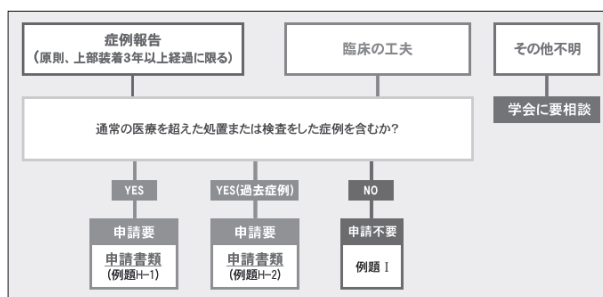
学会のホームページのトップ上帯にある「利益相反(COI)・倫理審査」から倫理審査のページに入り、左上縦帯の「申請様式を探す」を開いて先生方の研究内容により近いチャートを探してください。上段にある「新たに研究を開始する」、「新たに研究を開始するが過去のデータも利用する」、「過去のデータのみを利用する」のなかから、研究に利用しようとしているデータの採取時期を選択して、フローチャートの下流に進んでいくことになります。最後に行き着いた例題の内容と必要な提出書類を参考にしてい

ただいて、申請資料を作成してください。それでもなかなか書類の作成が困難であるというお声もいただきますので、臨床研究あるいは症例報告を今後予定されている先生は、次回の第47回学術大会（仙台）において開催される医学系研究に関する倫理セミナーにご参加ください。申請様式の選択ミスあるいは軽微な記載ミスで倫理審査に時間を要したり、査読に時間を要することのないように、このセミナーを受講していただければ、さらに理解が深まることと思います。詳細は学術大会プログラムをご参照ください。

今後、第48回学術大会（大阪）からは国から発出されている指針を完全に遵守した倫理審査を施行する予定です。そこで、円滑に倫理審査をすすめるために、各臨床系施設からご推薦をいただいた先生方を倫理審査相談委員として委嘱させていただきました。各臨床系施設所属の先生が臨床研究をされる際の申請資料の確認や記載方法の相談に乗っていただける予定です。臨床系施設に所属されている先生方で申請でお困りの際は、ご自身の施設に在籍されている倫理審査相談委員の先生にも是非ご相談ください。



研究関連



その他

通常の医療とは少なくとも以下の(1)～(3)の行為を行わない診療とする

- (1) 未承認または適応外の医療機器・医薬品を使用する医療
- (2) 上部構造装着後に年2回以上CTを撮影する医療（原則）
- (3) 採取した組織を解析診断する医療（原則）

指定研修施設紹介

NPO 法人 埼玉インプラント研究会(SIA)

施設長 根岸邦雄

1. プロフィール

NPO 法人 埼玉インプラント研究会(SIA)は、現在176名の会員を擁し、インプラントの臨床研究および広く会員相互の知識・技術の向上を図ることを目的としています。また、関東・甲信越支部に10箇所ある日本口腔インプラント学会認定臨床研修施設のひとつであり、会員の学術研鑽と同時に口腔インプラント学会認定医の養成機関としての側面も持っています。しかしあくまでも臨床医の集まりとして、患者さんの希望にどれだけ応えられるのか、どれだけ技術を提供できるのか、またその限界をできるだけ高めていこうという基本理念がそこにあります。会員は埼玉県のみならず、東京、神奈川、茨城、千葉、長野の各都県にわたっています。

会の発足は昭和54年、当時発売されて間もないセラミックインプラントの臨床手技の研鑽と、会員相互の情報交換を目的とし、「埼玉セラミックインプラント研究会」という名称で数名の会員でスタート



定例会風景

しました。その後、インテグレーションタイプのインプラントの国内普及に伴い、名称を「埼玉インプラント研究会」と改めました。現在では当会でもフォローアップやメンテナンスそしてリカバリーがより重要なテーマとなってきています。会の性格が時代に受け入れられたのか、ここ数年入会希望者は非常に多くなっています。

会の構成は、施設長の根岸邦雄先生、会長の渡沼敏夫先生を中心として、4名の副会長、4名の監事と、1名の専務理事を含む23名の理事によって執行部が形成され、会務は事務局、会計、会誌編集、学術部(学術資料部、学会・研究部)、渉外部、厚生部、コ・デンタルスタッフ部(歯科技工士部門、歯科衛生士・アシスタント部門)の各部に分かれ、全会員がいずれかの部に所属し会務を担当しています。

2. 活動

1) 定例会

定例会は2か月に一度、埼玉県さいたま市において、常時60名程度の出席を得て行われます(写真1)。内容は外部講師を招いての講演と会員の研究発表です。症例報告はもとより基礎研究、医療事故、患者接遇などその発表内容は多岐にわたっています。それらと業者による新製品の説明という三部構成で行われていますが、最近では会員数の増加とともに定例会における会員発表の順番がなかなか回ってこないのが今後の検討課題となっています。

2) 臨床コロキウム

2年に1度、「SIA臨床コロキウム」を開催し第13回を数えるに至っています。学会の学術大会とほぼ同様に特別講演、一般口演、シンポジウムを行っていますが、多少臨床面に比重が置かれており、外部からも毎回300名近い参加者を得ています。

3) 講演会



日本口腔インプラント学会
第35回関東・甲信越支部学術大会 集合写真

当研究会では独自に講師を招聘し講演会を行っています。ここ数年では、東京医科歯科大学教授春日井昇平先生によるインプラント外科、論文の作成法といったように、予めこちらよりテーマを決めて依頼し、SIA会員のためのオリジナルな講演会を行っています。

4) 学会活動への参加

臨床研修施設として認定講習会を開催し、また、日本口腔インプラント学会年次総会学術大会、関東・甲信越支部年次総会学術大会に、毎年SIAとして数演題の研究発表を行っています。昨年は第35回関東・甲信越支部学術大会：平成28年2月13日(土)～14日(日)を主管させていただきました(写真2)。学会発表に際しては、できるだけ全員が発表の機会を得るように工夫され、まず共同演者として参加し、次に主演者として発表し、さらには共同演者として発表内容に助言をするといった方法をとっています。また、日本口腔インプラント学会認定医資格の取得を目指す会員については投稿論文作成の指導援助も行っております。現在在籍している指導医は4名、専門医は33名、専修医6名となっております。

鶴見大学歯学部附属病院 インプラントセンター

施設長 大久保力廣

当初、本学歯学部附属病院ではインプラントに興味を持つ歯科医師が単独あるいは複数集まり、それぞれが個別にインプラント治療を行っていました。2001年9月には「口腔顎顔面インプラント科」が新

設され、口腔外科、補綴科、保存(歯周病)科より5名の常勤医が出向し、各科の専門性を活かしたインプラント治療を提供するようになりました。同年、かかりつけ医との共同診療(入院を含む)や諸検査を行うことができるよう、本学附属病院は全国に先駆けて、かかりつけ登録医に病院の施設や設備を開放するオープンシステム(開放型)病院として厚生労働省から認可されました。加えて、(公社)日本口腔イ

ンプラント学会の研修施設として登録されたことから、学外から多数の先生が外来や手術室に見学に訪れるようになりました。

それから10年以上が経過し、インプラント治療を取り巻く環境は大きく変化し、より安全で安心な外科手術を行うこと、より満足度の高い補綴装置を装着すること、より適切なメンテナンスを実施すること等が強く求められるようになってきました。インプラント治療の新しい技術や新材料が開発される一方で、患者の要求は高度化し、治癒像も多様化してきたことから、最先端の専門歯科医療を導入した包括診療による、より満足度の高いインプラント治療が求められるようになってきたわけです。さらに学内でも、インプラント専門医を目指す歯科医師が増加してきたため、従来の口腔顎顔面インプラント科内の研修だけでは対応が困難になってきました。

そこで、2014年4月にインプラントセンター運営委員会を組織し、口腔顎顔面インプラント科だけでなく、口腔外科、補綴科、歯周病科に加えて、インプラント診療に必要な画像診断科、歯科麻酔科、矯正科、口腔内科、歯内療法科、歯科技工研修科等が加わり、「鶴見大学歯学部附属病院口腔顎顔面インプラントセンター」を開設しました。本センターは(公社)日本口腔インプラント学会と(公社)日本顎顔面インプラント学会の指定研修施設に認定されており、同センターに一定期間在籍して、必要な研修プログラムを履修すれば、両学会の専門医の取得を申請する資格を得ることができます。また、「より安心して安全なインプラント治療」を実施するために、インプラント治療の開始前に各科の専門医が集まり、必要な臨床データをもとにカンファレンスを必ず実施し、全科より同意が得られた症例のみインプラント治療が許可されるシステムとしました。従来のように少人数のドクターや少数の診療科だけでインプラント治療の是非を判断するのではなく、インプラント治療にかかわるすべての診療科が集合してディスカッションし、最も合理的なゴールを目指したインターディシプリナリーアプローチが実践できるようになったと思われま。

本センターでは現在、以下のような教育、臨床、研究を目標設定しています。

- 1) 教育：学部学生、研修医をはじめセンター在籍者のインプラント教育、研修を行うことにより、信頼性の高いインプラント診療技術を持った人



材の育成を行う。また、優れた教育研修システムの開発・提供・実践を目指す。

- 2) 臨床：集学的な学術知識と技術に基づく高度かつ安全なインプラント診療を提供することで、患者の健康に寄与する。
- 3) 研究：インプラント診療をデータベース化することでエビデンスを蓄積し、学会活動等を介して国内外へ発信する。また、インプラントに関する臨床研究やトランスレーショナルリサーチを支援する。

2015年11月3日に本学大学会館メインホールにて「インプラントセンター開設1周年記念講演会」を開催しました(写真)。学内・学外より多数のご参加があり、多方面からご高評をいただき、本学紀要誌に講演内容を掲載しました(鶴見歯学43巻1号21～58頁)。現在、本インプラントセンターには常勤医28名、非常勤医95名が所属しており、毎月1回の定例会では学外からも著名な臨床家や研究者を招聘し、講演会を開催しています。日々のインプラント診療や臨床研究に加え、毎年数名ではありませんが専門医を輩出しており、地域社会への貢献とインプラント診療の質的向上に努めています。

2018年2月11、12日には、第37回日本口腔インプラント学会関東・甲信越支部学術大会を本学にて開催させていただく予定であり、現在、大会校として鋭意準備を進めているところです。たくさんのご支援、ご参加を心からお願い申し上げます。インプラントを探求し、しっかりと知識と技術を習得して、より安心して良質なインプラント治療を患者さんに提供することで、日本のインプラントの発展に微力ながら寄与できるよう取り組んでいきたいと思っております。今後も皆様のご指導ご鞭撻の程よろしくお願い申し上げます。

平成 29 年度学術大会のお知らせ

支 部	開催日・大会長	会 場	大会事務局
平成29年度 第47回 年次学術大会 (本部学術大会) 第37回 東北・北海道 支部大会	【インプラント治療が拓く未来 ーミート・ザ・フロントランナー】 2017年9月22日～24日 西郷慶悦 敬植義歯研究所 施設長 東北・北海道支部 支部長	仙台国際センター 〒980-0856 仙台市青葉区青葉山無番地 TEL：022-265-2211（代表）	株式会社東北共立 〒982-0001 仙台市太白区八本松2-10-11 TEL：022-246-2591 FAX：022-249-5618 E-mail：jsoi2017@tohoku-kyoritz. co.jp
第37回 関東・甲信越 支部大会	【これからのインプラント治療を探る ーすべては患者のためにー】 2018年2月11日，12日 大久保力廣 鶴見大学歯学部 インプラントセンター 有床義歯補綴学講座	鶴見大学記念館 〒230-8501 横浜市鶴見区鶴見2-1-3	一般財団法人口腔保健協会内 〒170-0003 東京都豊島区駒込1-43-9 TSビル TEL：03-3947-8761 E-mail：jsoi37kk@kokuhoken.jp
第38回 中部 支部大会	【超高齢社会をみずえる】 2017年11月12日 日比英晴 名古屋大学大学院医学系研究科頭頸部・ 感覚器外科学講座顎顔面外科学	名古屋大学野依記念学術交流館 〒464-0814 名古屋市千種区不老町 TEL：052-788-6121	名古屋大学大学院医学系研究科頭 頸部・感覚器外科学講座顎顔面外 科学/咀嚼障害制御学 準備委員長 土屋周平 〒466-8550 名古屋市昭和区鶴舞町65番地 TEL：052-744-2348 FAX：052-744-2352 E-mail：chubu-implant38@med. nagoya-u.ac.jp
第37回 近畿・北陸 支部大会	【インプラント治療 ーその先にあるものー】 2017年12月2日，3日 瀬戸俊男 医療法人健歯会 住井第二歯科医院	びわ湖大津プリンスホテル 〒520-8520 大津市におの浜4-7-7 TEL：077-521-1111	田上歯科 〒520-2275 大津市枝4丁目1-34 TEL：077-546-8888 FAX：077-546-8899 E-mail：jsoi37kinpoku@ tanakamidental.com
第37回 中国・四国 支部大会	【ライフステージに寄り添う インプラント治療を考える】 2017年11月18日，19日 友竹偉則 徳島大学病院 口腔インプラントセンター	徳島大学大塚講堂 〒770-0042 徳島市蔵本町3-18-15 TEL：088-633-9119	(株)エス・ティー・ワールド コンベンション事業部内 〒810-0001 福岡市中央区天神2-8-30 天神西通りビジネスセンター 6F TEL：092-288-7577 FAX：092-738-3791 E-mail：jsoi37chushi@stworld. co.jp
第35回 九州 支部大会	【ライフステージに応じた口腔 インプラント治療戦略 ー現在の到達点と 未来への展望ー】 2018年1月27日，28日 細川隆司 九州歯科大学口腔再建 リハビリテーション学分野	北九州国際会議場 〒802-0001 北九州市小倉北区浅野3丁目9-30 TEL：093-541-5931	九州歯科大学口腔再建 リハビリテーション学分野 準備委員長：正木千尋 〒803-8580 北九州市小倉北区真鶴2-6-1 TEL：093-285-3100 FAX：093-592-3230 E-mail：masaki@kyu-dent.ac.jp

新入会者紹介

(平成 28 年 12 月 8 日～平成 29 年 5 月 25 日)

▼東北・北海道支部

(北海道) 猪子光晴, 大内 学, 岡田英人
 加賀谷美江, 金森敏英, 葛巻秀敏, 黒畑尚子
 煙山修平, 権田宏視, 佐久間俊光, 佐々木邦博
 瀬川憂樹, 高谷優介, 多米宏暢, 長崎綾汰
 野川敏史, 野村昌史, 伴 将史, 福田慎之介
 前田由佳利, 益塚麻衣, 村松紘樹, 百瀬赳人
 (青森県) 西 剛慶
 (岩手県) 石岡真理絵, 櫻庭 実, 鈴木 勝
 栃内秀啓, 樋野雅文, 柳澤 基
 (宮城県) 青沼素良, 神田佳明, 蔡 優広
 佐藤愛美加, 前田真史, 山田康友
 (山形県) 久保田英樹, 助川香織
 (福島県) 酒井悠輔, 田中絵里, 鈴木秀太
 内山梨夏, 川原田祥平

▼関東・甲信越支部

(茨城県) 植村秀樹, 押野未稀, 高橋佳男
 長崎幸夫, 長島由季, 日下雅暁, 山田みゆき
 (栃木県) 小川雄大, 菊池光久, 高橋昌宏
 間島加奈
 (群馬県) 小川博且, 貝塚淳多, 金子千紘
 櫻井悠貴, 鈴木君弘, 高橋貴詩, 田中 徹
 (埼玉県) 植野琢也, 上山奈苗, 大場博文
 柿沼八重子, 窪川恵太, 倉田 豊, 黒木真里香
 小林真彦, 篠原枝美, 清水裕之, 田中茉莉子
 中澤 誠, 古谷信一, 松本 聡, 丸山紗緒里
 森 洋一, 吉沢明子, 吉村淳一, 和田恭昌
 (千葉県) 愛甲勝哉, 青山 竣, 荒川勇斗
 有馬由香, 伊波幸作, 岩下美穂, 加藤由佳子
 儀本壮太郎, 栗栖諒子, 榊田亜祐, 鈴木悠哉
 鈴木理絵, 成 仁鶴, 関口謙介, 豊村康太
 直野孝彦, 中島 正, 中原綾香, 中村真里江
 橋村頼人, 平井 茜, 福満 龍, 船久保真紀
 古屋早映美, 松井優人, 三浦千晶, 宮内知美
 森泉良紀, 山口雄太, 湯浅英世
 (東京都) 會田泰代, 青木大地, 秋月照彦
 荒岡大輔, 荒岡万理, 荒川美穂, 飯泉亜依

池畑直樹, 一之瀬くに子, 伊藤 健, 伊藤玲央
 岩城麻衣子, 浦田健太郎, 江川 翔, 逢坂竜太
 太田彰人, 大塚 源, 大庭美和子, 小川原彩花
 小澤久美子, 小澤洋輔, 小原大宜, 小山田晃樹
 片山 蘭, 加藤駿祐, 亀山晴香, 川澄恵美
 神田薫子, 北村伸子, 工藤英仁, 栗原壮一朗
 小泉 修, 小林 寛, 小松亮介, 小山慶介
 近藤貴之, 蔡 一訓, 櫻井浩平, 櫻井祐弥
 佐藤和将, 佐藤大翼, 佐藤正敬, 佐野良介
 重光勇介, 嶋崎 聡, 清水 浩, 清水峰太
 杉本光平, 杉本義樹, 鈴木総史, 諏訪孔二
 高西 桂, 高橋侑子, 高林美由紀, 高松直也
 財部裕輔, 田口知実, 竹澤百代, 竹屋江美
 田中浩子, 田村隆敏, 辻美千子, 続 由生
 中尾洋彰, 長嶋秀和, 夏田梨奈, 奈良裕之
 西尾健介, 西山明良, 二宮友里, 朴 世津
 橋本健太郎, 長谷川陽一郎, 日野陽太, 平山妃依
 広瀬 聡, 廣田小百合, 福島 歩, 藤井太亮
 伏屋真梨恵, 舟山一成, 古澤春佳, 前田祐二郎
 前原綾乃, 松井健太郎, 松浦 遥, 松田玲奈
 松原 恒, 三浦和輝, 水谷 紘, 南川議毅
 美濃直輝, 宮嶋大輔, 宮本ひとみ, 三好 礼
 武藤 仁, 村松朋養, 百瀬文弥, 森 俊幸
 安田裕康, 八塚康司, 矢野孝星, 山田雄一
 山中克之, 山本大輔, 山本将仁, 山守正浩
 吉田由佳子, 與那覇千夏, 鷲尾 薫, 和田典也
 渡部正義, 渡辺侑馬
 (神奈川県) 阿山隆太, 荒井美里, 池野 良
 伊藤瑞季, 岩田翔太, 大杉ゆきの, 岡本駿吾
 奥村しのぶ, 小澤僚太郎, 片山慶祐, 小林哲也
 近藤祐樹, 斉田牧子, 坂本貞樹, 佐藤亜紀
 佐藤 匡, 曾根崇晴, 高崎俊輔, 瀧居博史
 田中由美, 戸辺賢太, 内藤克仁, 永島久美
 中嶋唯乃, 濱岡 玄, 林 俊一, 原 裕弘
 平田貴久, 藤本龍太郎, 丸野 充, 山田裕記
 芳岡いづみ, 米山洋太郎, 羅 広輝, 脇 拓也
 渡部優治

- (新潟県) 安達詠子, 伊藤元貴, 今井秀明, 辰巳大貴, 寺田眞紀子, 西澤 薫, 原 弓加里
 加藤健介, 近藤 元, 佐野瑞樹, 八木栄徳, 松田隆宏, 水黒健一, 味村紗也華, 吉田能得
 山田麻衣子, 李 雅之
- (山梨県) 澤登未来, 中村弘之
 (長野県) 青木恭子, 太田亮輔, 顔 恩澤
 窪田昌平, 島田美香, 田中悠公子, 牧野貴明
- ▼中国・四国支部
- (岡山県) 有元和雅, 大城 與, 大橋俊孝
 上里隆裕, 下川育乃未, 納所秋二, 樋口隆晴
 Pham Hai, 前田知子, 三海晃弘, 迎 和生
 山下 将
- (広島県) 佐藤公麿, 神野孝太, 辰本将哉
 豊田裕輔, 中村幸生, 福村正秀, 保子和也
 横山 翔, 若松 聖
- (山口県) 岸 正海
 (徳島県) 秋田和也, 上杉麻紀, 清野方子
 笹川久美子
- (香川県) 橋本信之介, 増田敏夫, 松本憲一
 (愛媛県) 安部倫也, 寺坂弘司, 濱崎勇介
 毛利武文
- ▼九州支部
- (福岡県) 伊藤麻里, 上田洋子, 岡本志緒里
 長部蘭子, 加來伸一郎, 菊池大輔, 楠田詠司
 塩飽るみ子, 高尾直宏, 田中利幸, 土橋佑基
 常賀敬史郎, 友枝 亮, 豊田馨大, 鳥谷俊平
 中川茉莉, 仲宗根美由紀, 中野由布児, 仁位慶一郎
 畑 賢太郎, 原 大二郎, 福屋祐子, 藤川夏恵
 藤崎誠一, 増田佳英, 山田眞紀雄, 山道研介
 山道美季, 吉村 渚, 渡邊 雄
- (佐賀県) 大谷 真, 大谷拓毅, 加藤未悠
 桑原五郎, 駒井英里, 山田知子
 (長崎県) 叶井里歩, 久保由紀奈, 小林弘樹
 馬渡仁美, 山下雄平
- (熊本県) 赤星琴音, 井手春奈, 奥村礼子
 澤幡佳孝, 高森麻希, 竹崎直弥, 富永悠香
 中野麻澄, 中村祥子, 南 唯, 森山美彩
- (大分県) 武藤晃典
 (宮崎県) 大久保 篤, 米田浩之
 (鹿児島県) 原田知子
- (沖縄県) 新崎啓介, 岡本泰信, 柴田拓也
 神農悦輝, 光安皓平 (以上 487 人)
- ▼中部支部
- (岐阜県) 安藤 恵, 大串侑暉, 古田 耕
 村木智則, 山田宗季, 山本真由
- (愛知県) 味岡武志, 石河嘉矩, 石田靖子
 井上博貴, 上田直矢, 浦野 静, 小澤佑介
 小野勇太, 蟹江祐輔, 金子 理, 神谷孝生
 小林敦子, 佐久間重光, 佐藤真一郎, 鈴木陽子
 鈴木諒太, 須藤悠介, 高須啓輔, 寺道亜子
 富田晴伸, 西尾卓大, 久田章貴, 廣岡康子
 松本弥之, 村上正洋, 森 建輔, 竜 康弘
- (静岡県) 浅井雄大, 右島 望
- ▼近畿・北陸支部
- (富山県) 村永正昭
 (石川県) 秋谷 理, 中村友香, 新田玲奈
 橋本 裕, 水野絢菜, 水野伸太郎, 米林真利
- (福井県) 金田叔朗
 (滋賀県) 鈴木あゆ美
- (京都府) 秋山ひとみ, 伊保木聡太, 大藪桃子
 河井まりこ, 川原万平, 駒谷 徹, 近藤祐介
 古市知之, 森川泰希, 祐森善彰
- (大阪府) 朝倉 淳, 石本卓也, 伊藤 章
 伊藤朱音, 稲田案実, 井上裕久, 今井英貴
 奥田恵司, 久保亮太郎, 呉本勝章, 小林 衛
 近藤勢鯨, 阪本勝也, 諏訪吉史, 関野 徹
 高端淳也, 高橋 誠, 田島直人, 陳ルゲン
 中川雅文, 中島早紀, 西川美幸, 橋本 栄
 濱田 匠, 久木美侑, 菱田 茂, 黄 安祺
 藤田規正, 藤田 寛, 前川隆太郎, 真下千穂
 増田英人, 松川裕樹, 宮崎鉄也, 宮本綾香
 森下真次, 山下幸樹, 山下遥捺, 尹 徳栄
 渡辺洋平
- (兵庫県) 阿保慶蔵, 大橋りか, 小幡しおり
 檀林亜希子, 坂本しのぶ, 高田紘行, 田隅寛憲

目次

第 47 回日本口腔インプラント学会学術大会	
開催の挨拶	1
第 47 回学術大会プログラム	2, 3
平成 28 年度 研修施設変更	4
平成 28 年度 各種専門資格合格者	
指導医合格者	4
専門医合格者	4
専修医合格者	4, 5
専門歯科衛生士合格者	5
専門歯科技工士合格者	5
カリキュラム研修ワークショップ	
日本口腔インプラント学会専門医研修の	
カリキュラムプランニングに関する報告	6, 7
第 28 回口腔インプラント専門医臨床	
技術向上講習会報告	8, 9
倫理審査委員会からのお知らせ	9, 10
指定研修施設紹介	
NPO 法人埼玉インプラント研究会 (SIA)	10, 11
鶴見大学歯学部附属病院	
インプラントセンター	11, 12
平成 29 年度学術大会のお知らせ	13
新入会者紹介	14, 15
広告	16
目次	16

広報委員会からのお知らせ

今年度も引き続き塩田 真(東京医科歯科大学)が委員長を務めます。現在の広報委員会のメンバーは以下の通りです。

委員長：塩田 真 副委員長：市川哲雄

委員：山森徹雄, 北川 昇, 嶋田 淳, 内藤宗孝, 今 一裕, 十河基文, 添島義樹

広報委員会はニュースレターとホームページを通じて会員の皆様に学会の情報を素早く正確に伝達するよう努力致します。とくに今年度は広告可能な専門医取得に向けて広報の立場からサポートしていく所存です。御意見, ご要望等ございましたら, 以下の連絡先にご連絡下さい。

〒113-8549 東京都文京区湯島 1-5-45
東京医科歯科大学インプラント・口腔再生医学分野
塩田 真 電話：03-5803-5774
ファックス：03-5803-5774
メールアドレス：mshiota.impl@tmd.ac.jp

インプラント学会 検索

Thinking ahead. Focused on life.

MORITA



Veraview X800

New Frontier of the X-ray

ベラビュー X800は、CT撮影に加えパノラマ/セファロ撮影を1台で可能にしたAll-in-oneタイプのX線診断装置。高解像度、ボクセルサイズ80μmのCT撮影を実現。CT撮影は、水平にX線を照射することで、アーチファクトの少ない画像を取得できます。さらに、高精細な360度CT撮影モードとハイスピードで低照射線量の180度CT撮影モードを搭載し、診断目的に合わせた撮影を行うことができます。

Debut



発売 株式会社 モリタ 大阪本社: 大阪府吹田市垂水町3-33-18 〒564-8650 T 06 6380 2525 東京本社: 東京都台東区上野2-11-15 〒110-8513 T 03 3834 6161
お問合せ: お客様相談センター 歯科医療従事者様専用 T 0800 222 8020 (フリーコール) 製造販売・製造 株式会社 モリタ製作所 京都市伏見区東洪南町680 〒612-8533 T 075 611 2141
販売名: ベラビュー X800 標準価格: 9,600,000円~(消費税別途) 2016年10月21日現在 一般的名称: デジタル式歯科用パノラマ・断層撮影X線診断装置
機器の分類: 管理医療機器(クラスII) 特定保守管理医療機器 医療機器承認番号: 228ACBZX00008000
詳細な製品情報につきましては、こちらを参照ください。 http://www.dental-plaza.com/article/veraview_x800